



# 葉山小だより

「自分で考え 行動する子」「仲良くする子」

令和4年度  
No. 17

2023. 3. 8

葉山町立葉山小学校

校長 安達 禎崇

## ◇◇「森は地球の宝物」(5年生 / SDGs学習)◇◇

かわした と し こ

2月28日(火)、非営利型一般社団法人Silva(シルワ)の川下都志子さんを講師にお迎えし、5年生が「森の大切さ」について学びました。

「森は地球の宝物」と題した今回の講演では、まず、「地球上の生態系の役割には『生産者』『分解者』『消費者』の3つが存在すること」、「『生産者』と『分解者』は循環するが、『消費者』は『生産者』と『分解者』を干渉し、『生産者』と『分解者』を駆逐しないと生きていけない」こと等を学びました。そしてこれから先、私たちは何をどう考え、どう行動したら良いのかと問いかけながら、日本の土地本来の「森」を復元することの大切さについて、ご自身の活動内容を含めて教えていただきました。

「自然を破壊するのも人間、確実に自然を回復することができるのも人間です。人が自然と無理なく共生する未来へ行き着けると良いですね。」というメッセージを、子どもたちはメモを取りながら真剣に聞いていました。

「Silva(シルワ)はラテン語で『森』という意味。昨年は6年生の学習活動の中でビオトープ横に「葉っぱの森」を設置してくださっています。



## ◇◇馬頭琴の演奏を聴きました(モンゴル講座 / 2年生)◇◇



2月21日(火)、2年生が国語「スーホの白い馬」に登場する「馬頭琴」の演奏を聴きました。これは、葉山町が支援しているモンゴル講座の一環です。当日は馬頭琴演奏家の宮原洋子さんがいらしてくださいました。

最初にモンゴル語のこんにちは「サンバイノー」を教えてください、ゲルに代表されるモンゴルの生活、首都ウランバートルの様子など、映し出された写真を見ながら「モンゴル国」についての説明を伺いました。そして、いよいよ馬頭琴の演奏です。

宮原さんはモンゴルの民族衣装に身を包み、モンゴルの四季の曲や、馬が走る様子を表した曲などを披露してくださいました。初めて耳にする本物の馬頭琴の音色、そして演奏に子どもたちは興味津々で聴き入っていました。

教科書に載っている「スーホの白い馬」の世界を身近に感じることができ、大変貴重な体験となりました。

★学校では「情報モラル」の指導をしておりますが、放課後、帰宅してからのSNS(グループLINE等)使用による友人間トラブルが、学校に持ち込まれるという状況が(主に高学年で)見受けられます。スマホ等の機器使用について、利用上の約束やその内容も含め、ご家庭での管理・指導をお願いいたします。

## ◇◇楽しいあそびまつり(1年生)◇◇

2月21日(火)と22日(水)に、1年生が生活科で「あそびまつり」を開催しました。ヨーヨーつりに射的、さかなつりに輪なげなど、子どもたちがそれぞれ工夫したお店屋さんを出店し、お客さん役の子たちは「やった、90点に入った!」「こんな景品もらったよ」など、興奮気味にいろいろなお店をまわっていました。3つの約束「きちんとならんで、じゅんばんをまもりましょう」「あそびのどうぐは、たいせつにつかいましょう」「あそびおわったら、おみせの人にうれいをいいましょう」をよく守って、お店屋さん役、お客さん役、それぞれを思い切り楽しむことができたようです。お店や景品の準備、受付担当の説明も上手にできていて、もうすぐ2年生になる頼もしさも感じられました。



## ◇◇おわかれ遠足(6年生)◇◇

3月1日(水)、6年生は森戸海岸へお別れ遠足に出かけました。平日の森戸海岸は人影もまばらで、ほぼ独占状態。葉山小の子どもたちは本当に恵まれていると感じました。

動いていると、うっすら汗ばむくらいの陽気に、元気いっぱい駆け回ったり、騎馬戦をしたり、卒業前の思い出が、また一つできたようです。



## ◇◇6年生を送る集い(全学年)◇◇



3月3日(金)。3年ぶりに「6年生を送る集い」を実施することができました。6年生に向けた「ありがとう」の気持ちを、1年生から順番にダンスや歌、呼びかけなどで表現しました。体育館で6年生を前に、1学年ずつ入れ替わる方式で発表を行い、それ以外の学年は、他学年の発表を教室でライブ配信の動画で見ました。

どの学年も練習の成果が実った、とても素晴らしい発表でした。6年生からは、お礼として「最後のチャイム」という合唱曲の演奏が披露され、その歌声に在校生一同、心を動かされました。